

研究評価委員会におけるコメント

第29回研究評価委員会（平成23年10月14日開催）に諮り、以下のコメントを評価報告書へ附記することで確定した。

1. 革新型蓄電池先端科学基礎研究事業（RISING）（事後評価）

- ◆ NEDOで実施している幾つかの蓄電池開発プロジェクトの連携や成果を活性化する仕組み作りが必要である。
- ◆ 個々の要素技術では日本が先行していてもふたを開けてみればあちこちで負けているという状況にある。プロジェクトでどこまでできれば蓄電池産業の競争力がつくということの見通しを持ってプロジェクトを推進すべきである。

2. 次世代半導体材料・プロセス基盤(MIRAI)プロジェクト（第Ⅲ期）（事後評価）

- ◆ 世の中では国際共同研究が進んでいる中で、半導体分野においても日本が孤立することがないように国際協力を進めていくべきである。
- ◆ 個別の技術は、世界的に見てもすごく素晴らしい技術が開発されているという成果は出ているが、それを組み合わせて、どういうふうに最適な形でデバイスをつかって、そのための製造技術をどうする、という視点から、このようなプロジェクトの立案の際には、他の半導体分野のプロジェクトとの連携を踏まえた総合的な戦略を立てていく必要がある。